

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【公開番号】特開 2001-244837 (P2001-244837A)
 【公開日】平成 13 年 9 月 7 日 (2001.9.7)
 【出願番号】特願 2000-56994 (P2000-56994)
 【国際特許分類】

H 0 4 B 1/26 (2006.01)

H 0 3 D 7/16 (2006.01)

H 0 4 B 1/18 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 1/26 K

H 0 4 B 1/26 B

H 0 3 D 7/16

H 0 4 B 1/18 A

H 0 4 B 1/18 J

H 0 4 B 1/18 K

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 2 月 19 日 (2007.2.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 1 4】

【発明の実施の形態】

本発明の第 1 の実施形態のアンテナは、図 2 に示すように、反射鏡、例えばオフセットパラボラ反射鏡 2 を有している。オフセットパラボラ反射鏡 2 の代わりにパラボラ反射鏡を使用することもできる。オフセットパラボラ反射鏡 2 のほぼ焦点位置に一次放射器 4 が配置され、オフセットパラボラ反射鏡 2 によって反射された電波が収束される。収束された電波は、一次放射器 4 に結合されている導波管部を伝搬され、導波管 6 の後方に設けられている周波数変換装置 8 によって周波数変換され、出力端子 10 から出力される。オフセットパラボラ反射鏡 2 及び一次放射器 4 は、異なる周波数帯の信号、例えば衛星放送信号と衛星通信信号とを受信可能に構成されている。衛星放送信号と衛星通信信号とは、将来、同一の静止衛星、例えば放送衛星から送信される予定がある。この場合、衛星放送信号は、例えば右旋円偏波の信号として送信され、衛星通信信号は、例えば右旋及び左旋の円偏波を持つ信号として送信される予定である。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 7】

第 3 の実施の形態のアンテナは、図 4 に示すように、周波数変換装置 8 b の構成が図 1 の周波数変換装置 8 と一部で相違する以外、図 2 のアンテナと同様に構成されている。同等部分には同一符号を付して、説明を省略する。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 3 8 】

第 4 の実施形態のアンテナ装置も、図 5 に示すように、周波数変換装置 8 c の構成が、
図 1 の周波数変換装置 8 と異なる以外、図 2 に示したアンテナと同様に構成されている。
同等部分には同一符号を付して、その説明を省略する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 5 3 】

このようにして、右旋及び左旋の周波数帯 A 及び B の 4 つの信号のうち、任意に選択された信号を周波数変換した信号を、2 つの出力端子 1 0 a 及び 1 0 b に互いに独立して出力することができる。なお、ミキサー 1 8 L - A 乃至 1 8 R - B と切換スイッチ 3 6 が選択周波数変換手段を構成している。